

2-7 サイドチェインコンプ

サイドチェインコンプとは？

コンプレッサーの用法の一種、またはそれを用いたサウンドメイキングのテクニックのこと。

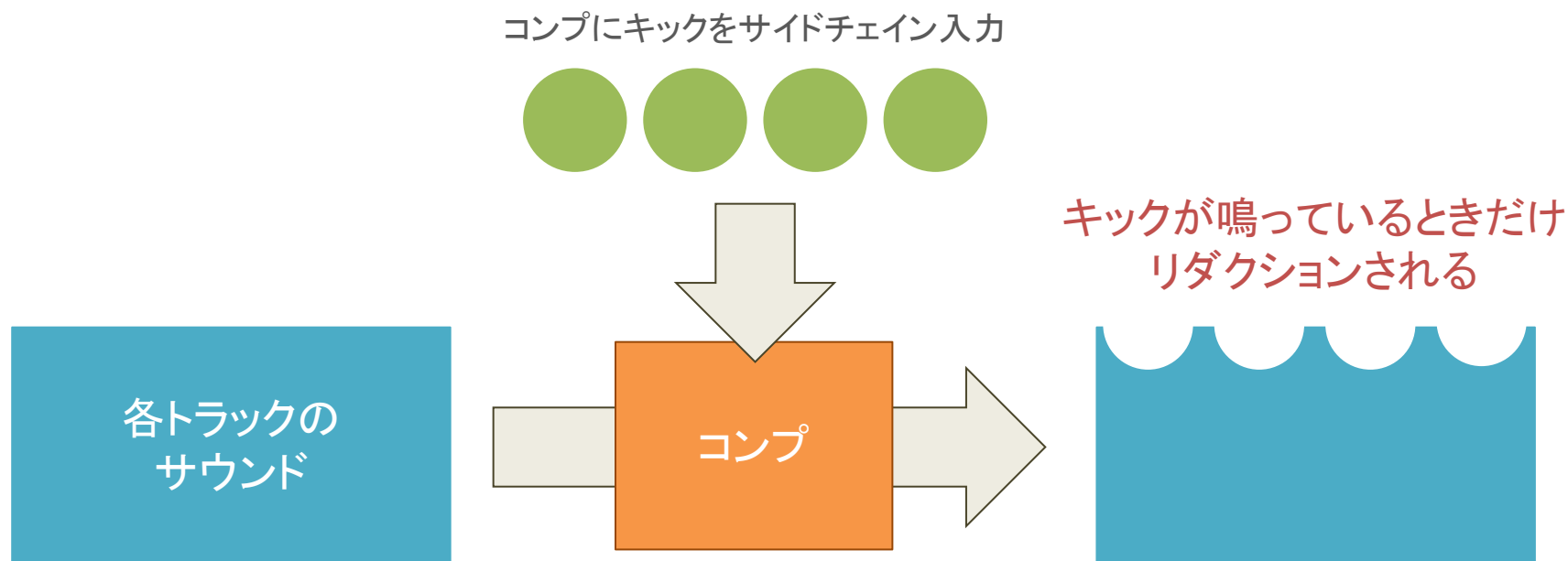
本来コンプレッサーは、インサートされたトラックの音を検知して作動するが、サイドチェインコンプはインサートされたトラック以外の音をトリガーとして作動するのが特徴。別名「ダッキング」ともいう。

【ダッキング】

メインの音声が鳴っている間、他のトラックの音量をしぼることで、メインの音声を目立たせること。本来の意味は「身をかがめる」こと。

ダンスミュージックにおけるサイドチェインコンプの用法

ダンスミュージックでよく用いられる手法として、キックの音をトリガーとして、特定のパートやトラック全体をダッキングするといったものがある。これにより、独特のウネリあるグルーヴィーなサウンドを作ることができる。



サイドチェインコンプがもたらす作用

■ 1. キックのヌケが良くなる

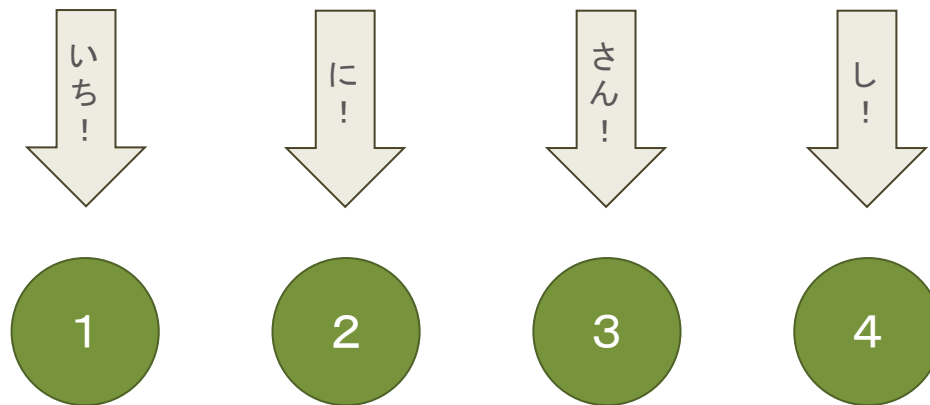
キックが鳴っている間他のトラックはダッキングされるため、必然的にキックのヌケがよくなる。とくに4つ打ち音楽において、キックのヌケ感はそのままフロアの心地よさ(踊りやすさ)に直結するため、サイドチェインコンプは非常に重宝する。

■ 2. 裏ノリ感が強調され、グルーヴィーなトラックになる

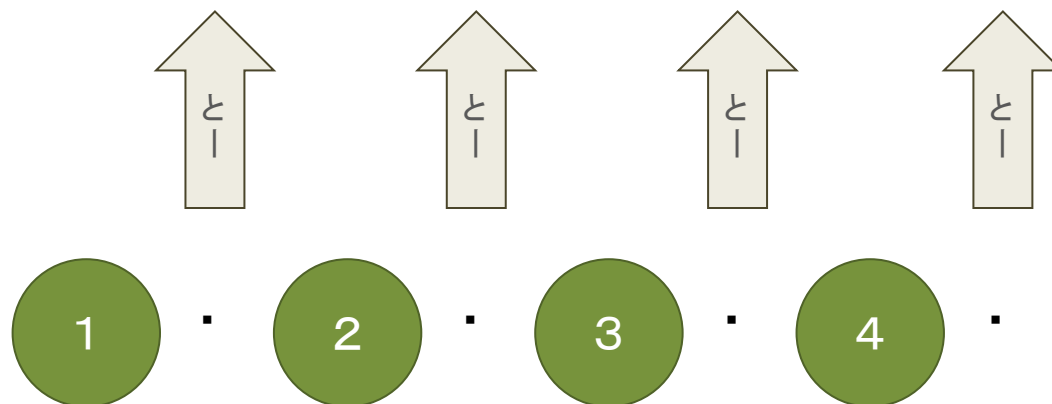
キックをトリガーとしたサイドチェインコンプは、その作用によって裏拍が強調されるため、楽曲全体の「裏ノリ感」をより強固なものにしてくれる。シンセベースの解説でお伝えしたとおり、ダンスミュージックはほぼ例外なく「裏ノリ」。サイドチェインコンプを上手に使って、心地よい裏ノリ感を作っていこう。

【参考】裏ノリを意識する

表ノリのイメージ



裏ノリのイメージ



サイドチェインコンプの使い方

- ① サイドチェイン入力用のキックトラックを作る
- ② サイドチェインコンプを適用したいトラックにコンプをインサートする
- ③ キックトラックの出力をサイドチェインコンプにルーティングする
- ④ パラメータを調整する

① サイドチェイン入力用のキックトラックを作る

まずは、サイドチェイン入力に使用するキックトラックを作ろう。可能ならば、サイドチェイン入力専用に着目のキックトラックを用意すると良い。

アレンジを進めていると、キックのリズムを一部分だけ変えたり、特定の場所だけキックを抜きたいこともあるが、サイドチェイン専用のダミートラックを用意しておけば、そのような場合でも一定のダッキング効果を得ることができる。

① サイドチェイン入力用のキックトラックを作る

サイドチェイン専用にダミーのキックトラックを作っておくと

メインのキックが不在の時やリズムが変わっても
サイドチェインが効いてくれる

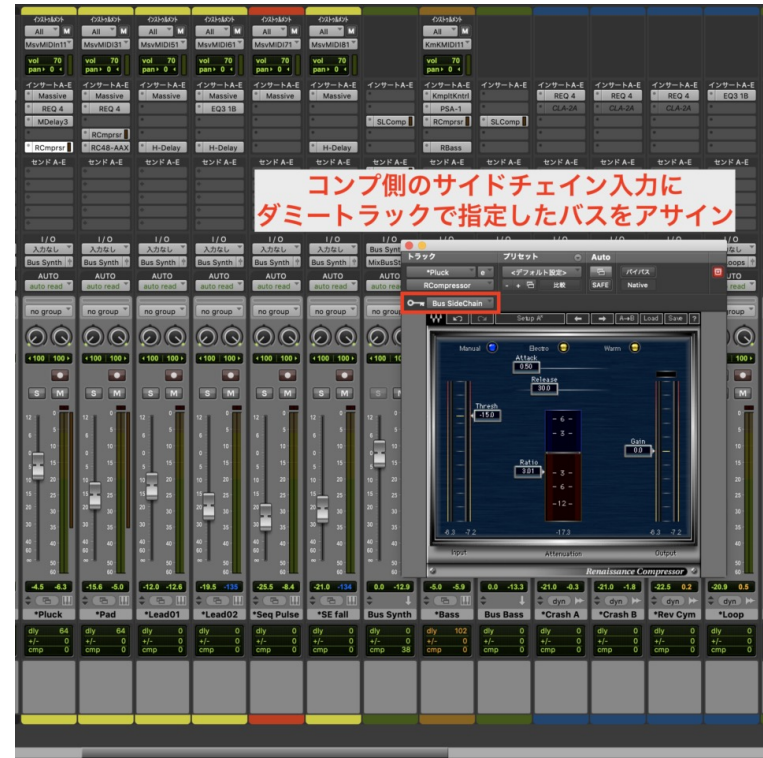
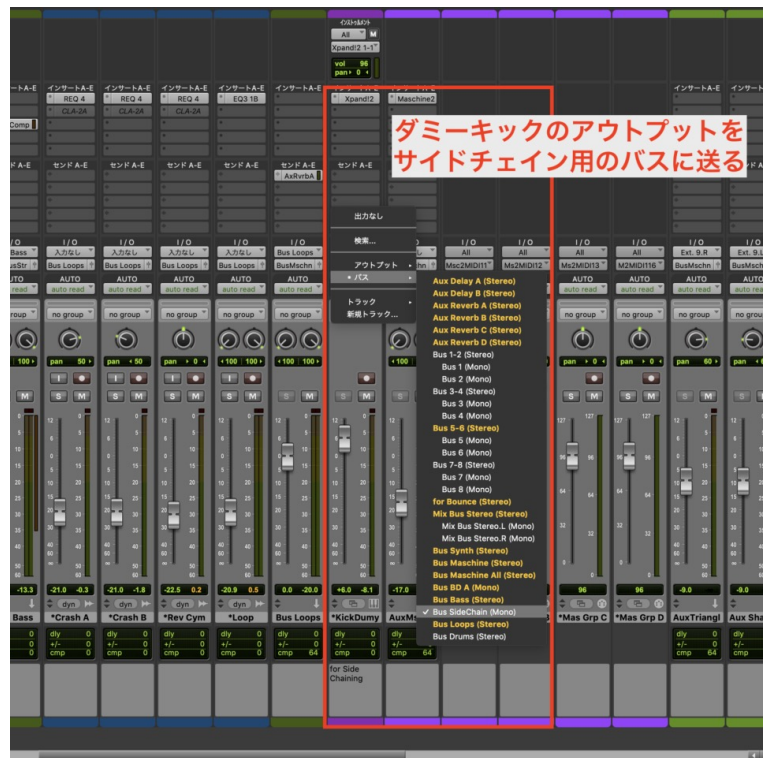
② サイドチェインコンプを適用したいトラックにコンプをインサートする

サイドチェインコンプを適用したいトラックにコンプをインサートしていく。特定のトラックだけにインサートしても良いし、複数のトラックをまとめたバスにインサートしても良い。



③ キックトラックの出力をサイドチェインコンプにルーティングする

はじめに作ったダミートラックの出力を、コンプのサイドチェイン入力にルーティングしよう。ダミートラックのアウトプットをそのままコンプレッサーのサイドチェイン入力にアサインするだけでOK。



④ パラメータを調整する

最後に、コンプレッサーのパラメータを調整していこう。劇的な効果を得たいのであれば、レシオは高め、スレッショルドは深めにセッティングするのが良い。(あっさりかけたいならその逆。)

アタックやリリースは曲のテンポ感やグルーヴによっても変わってくるため、適宜気持ちの良い値を探っていこう。